

研修(講座)名	公民館等職員専門研修		
期日	令和4年11月10日(木)	時間	10:00~15:10
会場	あすてらす	参加者数	43名
ねらい	<p>◎公民館等職員が、公民館等を運営するマネジメントについて、実際例の中から具体的に学ぶ。</p> <p>◎市町村の社会教育の核となる公民館等主任主事・チーフマネジャー等を対象にすることにより、市町村内外へ成果を波及させる。</p>		
	【 講義 】	「コロナ禍の公民館『新しい学びのスタイル』とは」(オンライン) 広島県大竹市立玖波公民館 職員 河内 ひとみさん	
	【交流タイム】	「コロナ禍の公民館『新しい学びのスタイル』とは」(オンライン) 広島県大竹市立玖波公民館 職員 河内 ひとみさん 東部・西部社会教育研修センター 社会教育主事	
	【 演習 】	「未来を見据えた公民館等の運営マネジメント」	
	【 ふり返り 】	「気づきの共有」	
研修の様子			
			
参加者の感想	<p>■楽しい研修だった。毎日毎日業務が多くとても大変だけれど、公民館の職員で幸せなのかもと思えた日だった。</p> <p>■様々な立場の方、環境におかれている方とたくさんしゃべって、話をお聞きできて良かった。悩みはつきないけれど共有、共感できる人と話をわかり合うだけで、前向きになれる。そんな研修会だった。</p> <p>■公民館に人が集まる仕組みや仕掛け、多様な方をまき込む手法は得るものが多かった。自身の公民館でも取り組めるところから始めていきたい。</p> <p>■自分の仕事のスタンスをふり返り、見直すきっかけをつくることができた。住民の皆さんに無理なく楽しく地域活動に関わっていただけるように、日々工夫しながら業務に向き合っていきたいと思う。</p> <p>■河内さんのスタンス、方法は難しいと思いがちだがとてもシンプルで参考になると思った。準備を4割で本番で残りの6割を共に創っていくというスタンスが、うまく巻き込んでじぶんごととして捉え、住民の主体的な動きにつながっていると思った。そのあたりの河内さんのバランス感覚がすばらしいと思う。</p> <p>■一番は、いいなあ公民館。公民館で仕事したかったなあと思ったこと。それぞれの公民館等の活動を聞いてワクワクした。このワクワクをまちづくりセンター職員にも体験して欲しいし、参考にして事業を計画・運営して欲しいと思った。</p>		